

市内で風しんの患者の増加が続いています！

1 概要

市内における風しん患者の届出の増加が続いており、今後、予防接種未接種者を中心にさらに感染拡大する可能性があります。

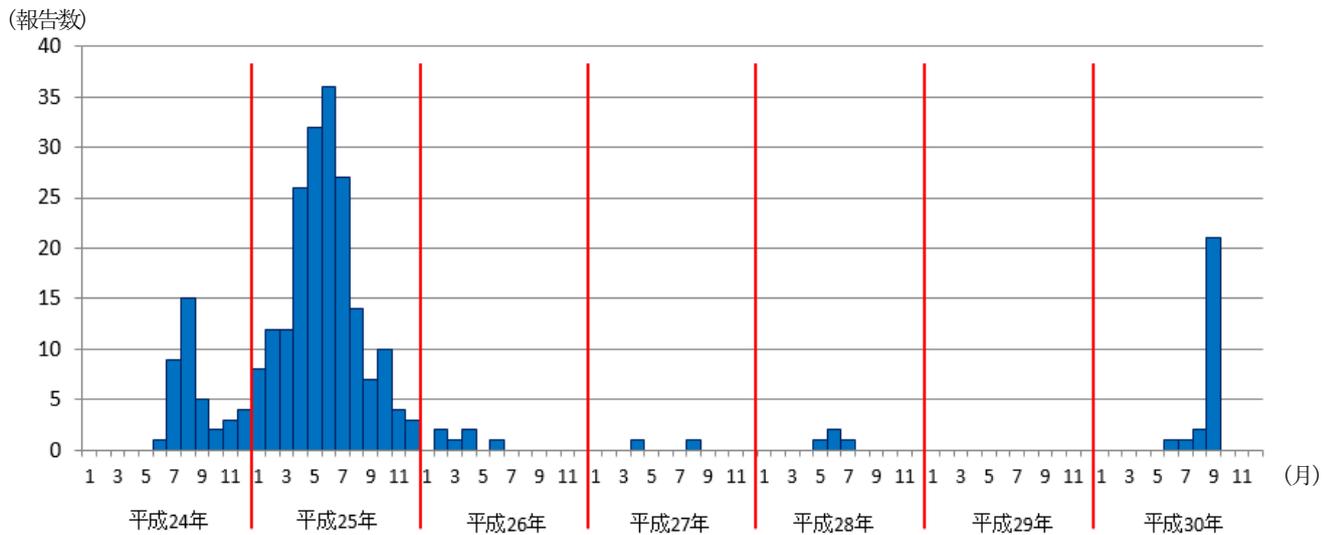
風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が風しんに感染すると、胎児に感染し、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊娠している女性への感染を防止するため、予防や発症時の適切な対応が必要です。

なお、妊娠を希望する女性、妊娠を希望する女性のパートナー及び妊娠中の女性のパートナーであり、かつ、事前の抗体検査*結果において風しんに対する免疫が不十分と判断された方に対しては、予防接種の費用助成制度があります。

※抗体検査にかかる費用は自己負担となります。

現在、市内のみならず関東地方を中心に風しんが流行しているため、今後、さらなる注意が必要です。妊娠している女性に感染させないよう、性別を問わず予防と早めの受診が肝要です。

2 名古屋市内における報告数の推移



年間報告数	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
名古屋市	39	191	6	2	4	0	25 ^{注1}
愛知県(参考)	98	375	21	13	20	3	55 ^{注1}
全国(参考)	2,386	14,344	319	163	126	93	770 ^{注2}

注1 平成30年9月30日までの報告数(診断日で集計)

注2 平成30年第38週(9月26日まで)の報告数(速報値)

東京都：239件、千葉県：179件、神奈川県：80件
7月下旬から関東地方を中心に、風しんの患者数が増えています。

3 名古屋市内における患者の概要（平成30年）

性別	年 齢（人）					ワクチン接種暦（人）			
	10代	20代	30代	40代	50代	2回	1回	なし	不明
男性	1	3	7	8	3	0	1	5	16
女性	0	3	0	0	0	0	2	1	0

注 平成30年9月30日までの数値（診断日で集計）

4 参考

(1) 別添「風しんについて」

(2) 風しんの情報については、以下のウェブサイトをご参照ください。

① 名古屋市公式ウェブサイト「市内における風しんの発生状況」

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000038345.html>

② 名古屋市公式ウェブサイト「風しん予防接種の費用助成について」

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000087308.html>

③ 厚生労働省「風しんについて」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

④ 厚生労働省「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起について」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/180814_1.pdf

⑤ 国立感染症研究所「首都圏における風疹急増に関する緊急情報：2018年8月29日現在」

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/180904/rubella180904.pdf>